|  |  |
| --- | --- |
| **教科書名** | **教科書調査の観点** |
| **（１）内容** | **（２）構成・分量** | **（３）表記・表現および使用上の便宜** | **（４）その他** |
| **①知識・技能** | **②思考力・判断力・表現力** | **③言語活動** |
| **論理国語****（論国７１０）** | （１）言葉の特徴や使い方に関する事項について理解を深めたり、自らの考えを広げたりする評論教材や学習の手引きが充実している。 | B　書くこと論理的な文章や実用的な文章を書くことの資質・能力に資する教材が充実しており、十分配慮されている。 | 「実践」や教材ごとの手引きで主体的対話的で深い学びを実践する数多くの言語活動例が示され、十分配慮されている。 | ・教材収録本数が多く、分野も多岐にわたり、教材選択の幅が広い。 | ・脚注や地図・図版などが適宜掲げられており学習の便宜が図られている。 | ・意欲的に発掘された新教材が多く掲載されていて清新な印象を受けた。 |
| （２）情報の扱い方について理解を深め、自ら情報を利用して思考を深めるための評論教材や言語活動が充実している。 | C　読むこと論理的な文章や実用的な文章について、根本から問い直し、多様な視点を持ち、視野を広げ、論理的思考を育む教材が充実している。 | ・単元ごとに「単元の目標」が示され、単元を通しての学習の見通しが立つように工夫されている。 | ・手引きや脚問によって理解を深められるよう配慮されている。 | ・評論読解に役立つコラムがよく整理されている。 |
| （３）新たな考えの構築に資する読書について、教材ごとに著者の主な作品が紹介されており、十分配慮されている。 | ・教材ごとに「視点」が示されて、教材を通して学習の見通しが立つように工夫されている。 |
| ・教材ごとに「課題」と「言語活動」が示され、身につける資質・能力を明確である。 |

筑摩書房版『論理国語』（論国71０）内容の特色